

本当にこれでいいの？ 公共施設の減らし方



長野市では、今後20年間に公共施設の延床面積を20%減らすとし、公共施設の廃止、統廃合が進められています。これから人口は少なくなっていくので、計画的に公共施設を減らしていくことは避けて通れませんが、何をどう減らすのか、それが市民生活にどのような影響をあたえるのか、よく考えて進めなければならないと思います。

今回、勤労者福祉施設（南部・中部・北部勤労青少年ホーム）の統廃合が決まりました。この施設には体育館が付属していて、若い方たちが仕事を終えた後に集まってスポーツを楽しむ貴重な場所になっていました。また、日中も地域の方々が利用されており、古い施設ですが稼働率はとても高く、市民に有効に活用されてきました。しかし、この体育館3館は廃止するという市の方針が示されています。

私たちは、この3館以外の体育館を使用している方々にも意見を聞いてみましたが、予約を取るために苦労しているということでした。体育館の総数が減ると、今以上に予約を取りにくくなってしまいかもかもしれません。体育館は市民の生涯スポーツに欠かせない大切な施設です。長野市全体の体育館をこれからどうしていくのか、市民と行政が一緒に考えていけたらと思います。

そこで、市民有志により、体育館について市の担当者から方針を聞いて、意見交換する会を企画しました。関心のある方は、ぜひご参加ください。



体育館の利用についてのご意見、困りごと等をお寄せ下さい

・アンケートフォームアドレスはこちら <https://forms.gle/vVwL5ssXLra3mukr7>

・アンケートフォームのQRコードはこちら ⇨



連絡先 090-9660-4871（丸山）